

# 北九州まちづくり応援団株式会社

## I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区魚町二丁目 6 番 1 号小倉商工会館 5 階
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 原田 康
- 4 資本金 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円（出資の割合 3.125%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	32 人	0 人	0 人	32 人

## II 平成 29 年度事業実績

第 13 期（平成 29 年度）は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④「サンリオ小倉ビル」管理事業の 4 つに絞り、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に取り組んだ。

北九州市からの指定管理事業（小倉城・小倉城庭園・水環境館）のうち、小倉城については、入場者が前年度（平成 28 年度）に大幅に伸長（122%）した反動も見られたが、インバウンド効果が続く中、年間 19 万人を超える入場者があり、前年対比 102%を達成した。また、小倉城庭園についても、計画通りイベントや企画展を開催できたこともあり、入館者 7.7 万人、前年対比 106%と大幅に達成した。水環境館については、4 か月間のリニューアル工事などもあったが、経費を圧縮するなど利益改善に努めた。以上の状況を反映し、入場料収入ならびに売店売上なども予算を上回り、最終損益の改善につながった。

小倉城・小倉城庭園の海外からの来場者は、累計 7.8 万人で、前年対比 112%となった。特に韓国からの入場者数は定期便の就航（平成 28 年 12 月）を契機に、それまで以上の伸びになった。

共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業については、概ね予定通りの活動ができ、ほぼ予算通りの利益が確保できた。

サンリオ小倉ビル管理事業については、事業途中でビルオーナーが替わり、平成 29 年 9 月末のビル賃貸契約満了をもって事業から撤退した。その結果、退去に伴う費用（設備撤去、移転先改修、移転費用等）が発生したほか、九州経済産業局への助成金返還により、360 万円の特別損失を計上した。

以上の事業活動の結果、今年度の収入は 2 億 7,974 万円（対前年比 100.1%）と、事業整理等の影響はあったが、前年度並みを確保した。販売費及び一般管理費の改善などの効果もあり、経常利益は 1,080 万円と、前年の 836 万円からさらに改善し、当期利益は 172 万円と黒字計上した。

### Ⅲ 平成 29 年度決算

#### 1 貸借対照表

平成30年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【69,059,108】</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>【26,120,235】</b>
現 金	3,585,656	未 払 費 用	17,093,718
預 金	55,174,854	未 払 法 人 税 等	104,300
商 品	2,882,097	預 り 金	2,109,676
貯 蔵 品	1,928,315	仮 受 金	3,819,741
未 収 入 金	5,488,186	未 払 消 費 税	2,992,800
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【2,485,109】</b>	<b>【 固 定 負 債 】</b>	<b>【5,020,000】</b>
(有形固定資産)	(2,175,109)	長 期 借 入 金	5,020,000
建 物 附 属 設 備	2,175,109	<b>負 債 合 計</b>	<b>31,140,235</b>
(投資その他の資産)	(310,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000	<b>純 資 産 の 部</b>	
出 資 金	10,000	<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>【40,403,982】</b>
敷 金	240,000	資 本 金	32,000,000
		(利益剰余金)	(8,403,982)
		その他利益剰余金	8,403,982
		繰越利益剰余金	8,403,982
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>40,403,982</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>71,544,217</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>71,544,217</b>

2 損益計算書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日 (単位：円)

科 目		金 額	
【 売 上 高 】			
事業収入金		52,206,666	
小倉城関連売上		227,529,854	279,736,520
【 売 上 原 価 】			
期首棚卸高		2,750,427	
小倉城関連売上原価		13,309,631	
仕 入 高		42,865,123	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊		58,925,181	
期末棚卸高		▲2,882,097	56,043,084
	売 上 総 利 益 金 額		223,693,436
【販売費及び一般管理費】			213,270,585
	営 業 利 益 金 額		10,422,851
【 営 業 外 収 益 】			
受 取 利 息		549	
雑 収 入		436,167	436,716
【 営 業 外 費 用 】			
支払利息割引料		63,048	
雑 損 失		3,608,827	3,671,875
	経 常 利 益 金 額		7,187,692
【 特 別 損 失 】			
固定資産除却損			5,469,085
	税引前当期純利益金額		1,718,607
	法人税、住民税及び事業税		102,400
	当 期 純 利 益 金 額		1,616,207

#### IV 平成30年度事業計画

当年度は、前年度に引き続き①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に取り組む。

指定管理事業のうち、小倉城については、昨年度までの好調な入場者増の流れを維持しているものの、8月6日からのエレベーター新設工事・展示施設の刷新工事で来年3月末まで休館となり、年度での営業収入が約6割落ち込む見込みとなっている。今回の指定管理の契約時には計画が無かった工事ではあるが、市の予算補填は一部の補填に留まる見込みとなっているため、小倉城のイベント費用の大幅圧縮を織り込む計画となった。小倉城庭園については、小倉城休館中の重要な収入源であるため、無駄な経費は抑えつつ、計画している企画展を計画通り実施し入場者数で5%増を目指す。水環境館についても、水槽のメンテナンスなどを内部に取り込み経費削減を実施する。

「共通駐車券事業」については、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行う。

「賑わいイベント事務局事業」については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定で、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催予定である。

結果として、第14期の売上高は2億3,609万円、経常利益については、ほぼゼロの計上となる見込みである。

#### V 役員名簿

平成30年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利島康司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	原田康	北九州商工会議所副会頭
取締役	中村渉	北九州商工会議所参事
取締役	甲山博美	小倉中央商業連合会顧問
取締役	鮎川典明	北九州市小倉北区長
取締役	原賀一博	北九州市まちづくり応援団(株)統括本部長
監査役	庄山和利	西鉄バス北九州(株)代表取締役社長